

講座名：『ともに築く社会心の豊かさを探る』

講師：森山拓也・馬場康德・姜東星（福祉総合学部福祉総合学科）

開講：6月20日、6月27日、7月4日、7月11日

森山拓也先生

「ボランティアについて」をテーマに、ボランティアサークル「スターダスト☆キッズ」の学生8名と福祉総合学科の森山が担当しました。学生は写真を用いて活動内容を紹介し、クイズ形式で受講生と交流しながらボランティアへの理解を深めました。森山が理論的な補足を行い、学生による手話コーラスの披露と受講生の体験も実施。参加者からは、学生との交流を通じて楽しく学べたと好評を得ました。

馬場康德先生

「ともに考える高齢期の住まい」をテーマに、福祉総合学科の馬場が担当しました。講義前半は、馬場が社会福祉学の視点でみたわが国の住宅事情や人とのつながりを生むあらたな高齢期の住まいについて解説を行いました。後半は、受講生の皆さまと一緒に、理想の高齢期の住まいと高齢期の住まいに必要な条件を考えてみました。受講生の皆さまからは、いままで考えたこともなかった高齢期の住まいについて学べたこと、ADL等が低下する前の早めの住み替えを考えることも大事になることなどを学べたという好意的意見をいただきました。

姜東星先生

「長崎の記憶遺産 林京子の文学を読む」をテーマに、福祉総合学科の姜東星が担当しました。原爆を生き延びた林京子（1930～2017）が30年以上の沈黙を経て発表した『祭りの場』（1975年、芥川賞受賞）や『空罐』（1978年）を読み解き、「語りえなかったこと」と文学的抵抗、人間の尊厳を回復する林京子文学から力と思考を得ました。参加者からは「戦争体験者が少なくなる中で、小説や文学によって語り継ぐことの重要性を再確認できた」との声が寄せられ、林京子文学の意義を再考する貴重な時間となりました。

講座の様子



【お問合せ】

城西国際大学 社会連携課

Mail: clics-jim@jiu.ac.jp

TEL: 0475-55-7685